

令和5年度 学校関係者評価

学校名	北海道厚真高等学校
-----	-----------

組織名	学校運営協議会
評価者	学校運営協議会委員 13名 (保護者 1名含む)

1 本年度の重点目標

重点目標(スクールポリシー)	<p>○育成を目指す資質・能力に関する方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 自ら進んで学習に取り組む人の育成 豊かな感性と寛容の精神を兼ね備えた人の育成 <p>○教育課程の編成及び実施に関する方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎・基本の定着と学習基盤の育成 学ぶ喜びを実感する授業づくりの推進 豊かなコミュニケーション能力の育成 キャリア教育の充実 地域の教育力を活用した取組
重点目標の適切さ	<ul style="list-style-type: none"> 概ね適切に行われている。 目標がたくさんあるのは良いが、簡素化してはどうか。例えば「素直」に「言われたことはやる」など。 入学したときから夢をもって学習も心も成長していくこと。

2 自己評価結果

大項目	中項目	評価項目・指標等 小項目	達成状況	取組の適切さ	改善の方策	自己評価の結果		
						内容の適切さ	取組の適切さ	今後の改善方策の適切さ
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 自ら進んで学習に取り組む人の育成 基礎・基本の定着と学習基盤の育成 学ぶ喜びを実感する授業づくりの推進 	<p>(指標)</p> <p>生徒の自己評価、学校生活アンケート等において、「朝学習」の取組等に係る肯定的な回答が70%以上となることを目指す。 (生徒の肯定的な回答(そう思う・おおむねそう思う)が70%以上を評価A、50%以上を評価B、50%未満を評価Cとする)</p>	A	B	肯定的回答85.4%、前年度89%と比べ減少。職員取組は3.4で0.1低下。学習に向かう姿勢の乏しい生徒がいる。職員の異動により減少も伺える。次年度は向上を図る。	A	B	B
		<p>(指標)</p> <p>生徒の自己評価、学校生活アンケート等において、家庭学習に関して「概ね取り組んでいる」等の肯定的な回答が60%となることを目標とする。 (生徒の肯定的な回答(そう思う・おおむねそう思う)が60%以上を評価A、40%以上を評価B、40%未満を評価Cとする)</p>	B	B	肯定的回答45.1%、前年度47%と比べ減少傾向にある。職員の取組は3.0と低い。オンライン学習も活用しているが家庭学習の啓発を実施したい。	A	B	B
		<p>(指標)</p> <p>授業の途中退室について、1人あたり前年度比減を目指す。 (前年度比減を評価A、変化なしを評価B、前年度比増を評価Cとする)</p>	A	A	実人数238名、前年度345名、前年度と比べ大幅に改善。職員の取組は3.5であり次年度も改善できるように取り組む。	A	A	A
評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> 「朝学習」の具体的な方策を。 							
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 広い視野と高い社会性を身につけた人の育成 豊かなコミュニケーション能力の育成 豊かな感性と寛容の精神を兼ね備えた人の育成 	<p>(指標)</p> <p>朝の遅刻を、1人あたり前年度比減を目指し、指導啓発を行う。 (前年度比減を評価A、変化なしを評価B、前年度比増を評価Cとする)</p>	B	A	実数は248名であり、前年度251名と比べて若干減少した。職員の取組は3.5であり、朝の出迎え活動、集金を活用した啓発指導など、今後も多面的な取組を積極的に進める。	A	A	A
		<p>(指標)</p> <p>いじめアンケートで、「いじめはどんな理由があっても許されない」との回答率100%を目指し、そのための啓発指導を行う。 (回答の割合が100%であれば評価A、80%以上が評価B、80%未満は評価Cとする)</p>	B	A	「そう思う」との回答87%、「わからない」が若干名。職員の取組は3.7と高い。次年度も100%を目指していじめに対して組織的な対応の充実を図る。	A	A	A
評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な方策が見える。 							
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> 適切な言語活動をとおして自己実現力を高めた人の育成 キャリア教育の充実 	<p>(指標)</p> <p>進学・就職希望の年度内進路決定率を100%とする。 (内定率が100%であれば評価A、80%以上が評価B、80%未満を評価Cとする)</p>	A	A	進路決定100%、職員の取組も3.7と高い。次年度も個別の職業指導も含め、継続的に職業観・進路意識を涵養し、早期に取り組んでいく。	A	A	A
		<p>(指標)</p> <p>生徒の資格・検定取得等の取組として受検率100%を目指すとともに合格率の向上を図る。 (受検率が80%以上であれば評価A、60%以上が評価B、60%未満を評価Cとする)</p>	A	B	95.6%(前年85.3%・前々年97%)であった。1年生92.3%、2年生95.2%、3年生100%。食品衛生責任者講習の年度は高い傾向。全体の合格率は43.2%に対し職員の取組は3.2。合格率向上を図る必要がある。	A	A	A
評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> 総合的に謙虚さが感じられる。自信をもって頑張っていたきたい。 概ね達成しており、適切である。 							
<p>・「達成状況」項目の評価(A、B、C)は、生徒による学校評価(自己評価)アンケートの集計結果に基づく。</p> <p>・「取組の適切さ」項目の評価(A(3.5~4.0)、B(3.0~3.4)、C(~3.0))は、教員による学校評価(自己評価)アンケートの集計結果に基づく。</p>								